

ひびけ和だいを



岡部小学校5年 清水 侑子

今日、学校で「ひびけ和だいのビデオを見ました。けいご君は、たいこの練習の時いつもみんなのたいこと合わなくて、失敗ばかりしていました。そのことで、けいご君は、「あーあ、またかよ。」とか、「もう、たいこやめた方がいいよ。」とか、ひどい事を言われたり、仲間外れにされたりしていました。

私は、それはひどいと思います。けいご君はがんばって練習しているし、わざと失敗しているわけじゃないからです。けいご君は、学校でも、家でも、帰り道でも、一人でいっしょうけんめい練習しているのに、それなのに、みんなは、けいご君に悪口を言ったり、仲間外れにするなんて、けいご君が、かわいそうです。

私にも、けいご君と少しにている事があったから、けいご君の気持ちがわかります。私が三年生の時の事です。フレッシュタイムの時に、大なわとびがありました。ほとんどの人が続けてとべていたけれど、私の番になった時、私は、前の人に続けてとべませんでした。今

まで、みんなが、とんでいたいきおいが、私の番で、止まってしまったのです。それで、二、三人の男の子が：「あーあ。」と言いました。

私は、その時、「あーあ、また侑子ちゃんがつつかえた。大なわとびぬければいいのに。」と言われたように感じました。私は、悲しくなりました。でも、Aちゃんが、「だいじょうぶだよ、がんばろう！」と言ってくれました。私はすぐうれしかったです。

私は、家に帰って、大なわとびの事を話したら、お兄ちゃんとお母さんが、練習するのを手伝ってくれました。でも、家でやっても、あまりうまくとべないし、すぐ、ひっかかってしまいました。でも、Aちゃんがはげましてくれて、くれたことを思い出して、がんばろうと思えました。それに、お兄ちゃんが、大なわの入り方を、教えてくれました。「こわくないから、思いきって入りな。」と、言って、はげましてくれました。

お母さんと、お兄ちゃんと三日間続けて練習をがんばりました。そうしたらとうとう続けてとべるようになりました。すごくうれしかったです。それから、私は、大なわとびが、前より好きになりました。私はいっばい練習してよかったです。

けいご君も、一生けんめい練習して、たいこが上手になりました。私も、Aちゃんや、お兄ちゃんにはげまされて、大なわの練習をがんばってよかったです。

# 夢

## なかるべからず

うた 翔太さん ぐし 塚越

### レーンコンディションとの駆け引き



## レーンの克服

ボールの軌道をイメージしながら、ボールをセットするとすぐ投球する。レーンに塗られたオイルは、刻々と変化する。そのコンディションは、冷静に分析しなければならない。

頭を下に向ける独特のフォームから放たれたボールは、レーン上で軽い放物線を描くと、ヘッドピンへと吸い込まれていく。全日本ボウリング協会所属ボウラー 塚越 翔太 乾いた音をたてて、ピンは生き物のように絡み合い倒れていった。

塚越翔太さんは、深谷市スポーツ栄誉賞を受賞されました。詳しくは13ページをご覧ください。

## Book

ふかや必読書 30



『星の王子さま』 サン・テグジュペリ 作者、サン・テグジュペリの手による、愛らしい王子様の挿絵にも心を引かれる本です。バラやキツネとの出会いと別れを通して、王子様が気付いていくそのことに、あなたはどこで気付けるのでしょうか？

感想 みんなの

南中学校1年 野村 歩未さん

ある小さな星から地球にやってきた王子さまの物語。砂漠に不時着した「ぼく」が出会った男の子。「心で見なくちゃ、大切なことは目に見えないんだよ……。」キツネが贈り物として王子さまに教えてあげた秘密の言葉。そして王子さまが最後に「ぼく」に言った言葉。私にとって大切なもの、家族、友だち。目に見える大切よりも心で感じる大切なものを忘れないでっていう声が聞こえてくるような気がした。

## Letter

ありがとうの手紙



優秀賞 小学校低学年の部

### メガネをかけたおじさんへ

よむら かいと 横村 海斗さん 藤沢小学校3年(現4年)

ぼくがお姉ちゃんとパティオに行った時のことです。公園のあそび場で、ぼくが足をはさんでぬけなくなっていると知らないメガネのおじさんが気づいてくれて足をぬいてくれ、パティオの人が手当をしてくれました。その時、後から「だいじょうぶか。」「がんばれよ。」と、いろいろな人の声が聞こえました。この時、ぼくは、「ありがとう。」が言えなかった。その時の分まで、たすけてくれたいろんな人に「ありがとう。」と心をこめて言いたいです。「ありがとう。」

ご応募ありがとうございました 今年度は、11,294点の応募を頂きました。たくさんのご応募ありがとうございました。 岡学校教育課 (☎ 572-9578)

## 壁・周囲の人

ボウリングは、小学2年生の時に、父親や叔父に連れられ、遊びで始めた。ストライクの爽快感がやみつきになり、のめり込んでいった。

4年生の時、初めて県の大会へ出場すると、上級生を破って優勝。その勢いで関東大会へ出場したが、結果は予選敗退。この大会で優勝した6年生が、パーフェクトを達成し、目標とも憧れともいえる気持ちを抱いた。しかし、目標を実現する術がわからず、スコアが伸び悩んだ。初めてスランプに陥った。そんな自分を、周囲の父親や叔父、練習場のプロボウラーたちが正面・側面から、精神面や技術面を徹底的に指導してくれた。いつしか、スコアを気にせず、ひたすら投げ込むことができるようになった。



な自分を、周囲の父親や叔父、練習場のプロボウラーたちが正面・側面から、精神面や技術面を徹底的に指導してくれた。いつしか、スコアを気にせず、ひたすら投げ込むことができるようになった。

ついに6年生で、関東大会優勝。心も体も成長し、レーンコンディションを即座に分析できるようにになった。レーン上に一筋の光が見えた。

## 自然体で臨む

現在、上柴中3年生。今年3位の成績を取めた。目標は全日本ナショナルチームのメンバーになることだ。レーンに立つと、緊張する。これを取り払うかのようになり、自らに課題を課し、ひたすら狙った1ピンだけを倒す。刻々と変化するレーンコンディションには今でも悩む。しかし、今では、平常心を保ち冷静に判断できる。それはまるで、周囲の人に支えられて成長した、証であるかと示すように。

## 夢七訓

- 夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし ゆえに 幸福を求める者は 夢なかるべからず※